

横浜市 副市長  
平原 敏英 様

山下ふ頭開発開始に  
際しての

**要請**

(添付資料あり)

令和4年1月27日

一般社団法人 横浜港ハーバーリゾート協会

## はじめに

市長就任以来、横浜港の運営・業務に関して市行政には多大なご尽力を頂きまして感謝申し上げます。

さて、今回は昨年末 12 月 23 日に市長会見で表明された（「内港地区の将来像の検討」と「山下ふ頭再開発の新たな事業計画策定」に向けた意見募集等の開始）に関して、我々の見解を述べさせて頂くと同時に、重要な要請をさせて頂きたいと思っております。

2019 年 8 月 22 日に前市長の林文子氏が突然、山下ふ頭に IR・カジノ事業を誘致するとの発表があり、この強硬なカジノ事業誘致開発の発表に関し、

- ① 我々を含む市民団体の関係者と調整せず、突然の計画発表は民主主義に悖る
- ② そもそも、何故 IR/カジノ事業を強引に推進するのか不可解である
- ③ 我々は再三にわたってハーバーリゾートとしての開発で十分な経済効果を得ることができることを FS（事業性検討）結果を通知済みであったが一切コメントもなく無視され続けてきた

当時の林 文子市長及び市の行政は IR/カジノ誘致をさらに強引に推し進めたので、我々は昨年行われた市長選挙で、市長を代わってもらうしかないとの結論に至り、市民を大きく巻き込んで選挙を戦い、IR/カジノ推進の候補を大きく引き離して山中竹春氏の市長当選が実現致しました。非常に喜ばしい事でした。

しかしながら、9 月から 12 月末までの間にこれといった議論のないまま年末になったところで、今回突然具体的な山下ふ頭の開発意見募集がいきなり公表されました。直前にその情報は当局からなされたものの、数日前というありさまで、しかも、重要なポイントの説明・調整は一切ありませんでした。

市長、前回の市長選の最重要な論点は IR/カジノ事業の山下ふ頭誘致への反対、市民の意見を無視した政策決定だった、の 2 点でした。これは我々のみならず、市民にとって非常に重要な事でした。また、市民は昨年 1 月、強引な手法に対抗して、193,193 筆の住民投票案の署名を市に対して行ったものの、十分な議論もされず否決された苦い思いを抱き、市長選挙戦に臨んだのでした。市長はこれら市民の熱い思いが基盤となって当選されました。

ここに、市長にお願い致します。山下ふ頭は、関東ばかりでなく、日本いや世界の重要な臨海地区も所在し、いわばダイヤモンドのように貴重な場所です。この山下ふ頭の開発を満を持してスタートする時、市長選出で大きく貢献いたしました我々、市民の意見を聞いてからどのように何を開発するのかを決めるべきではないでしょうか。今回の突然の開発計画の意見公募の公表に驚くと同時に大きな違和感を持つにいたりましたので、以下要請させて頂きます。

令和 4 年 1 月 27 日

一般社団法人 横浜港ハーバーリゾート協会

会長 藤木幸夫

## 1. 白紙撤回

昨年12月23日に表明・広報した（「内港地区の将来像の検討」と「山下ふ頭再開発の新たな事業計画策定」に向けた意見募集等の開始）を一旦撤回し、**頒布した広報パンフレットを全て回収して頂きたい**。今回の公表は突然であり、重要ポイントは事前に全く調整されませんでした

## 2. 港運・倉庫事業有効活用

本牧ふ頭などへ移転したこれら事業者約20社は現状窮屈な環境で事業をしています。これから5~6年ほど開発は始まりませんので、その間山下ふ頭を港運事業への有効活用を是非お願い致します

## 3. 第三者機関設置

IR/カジノ事業誘致活動を行っていた当時の実態、何を実行していたのか、つまびらかにして頂き、それを調査・総括する公平な第三者機関を早急に設置の上、究明して頂き、ご報告して頂きたい

## 4. 激変の社会情勢を踏まえて

IR/カジノ誘致を目論んだ時点（数年前）と現在では外部環境・社会情勢（特にコロナ禍・激甚災害の多発可能性など）が大きく変化しています。激変の状況を踏まえて開発の指針を市民団体・地元団体などと入念に相談してから山下ふ頭の再開発の開始は検討すべきではないでしょうか。IR/カジノ誘致を中止したのですぐに開発に取り掛かるとするのはあまりに拙速すぎます

## **5. 手順を踏んだ開発**

IR/カジノ事業推進の総括・反省が最初で、次に山下ふ頭開発をどうするか検討を開始するべきではないでしょうか。必要な段階を重要な関係者と十分に意思疎通を図った上で、あるべき手順の沿って進めて頂きたい。(参照：添付資料)

特に今回の開発公募は、デベロッパー・ゼネコン優先となっています。一般市民の意見は収集するに留まり、反映されるということが保証されていません。なぜ市民意見募集と事業者からの提案が完全に並行となっているのでしょうか。

このままではIR/カジノ誘致の擬似的開発に陥る可能性が大です。

添付資料に即した本来あるべき手順で山下ふ頭の開発を行って頂きたい(参照：添付資料)

## **6. 経緯を明らかに**

今後このような事態が再発しないようにするため、今回の、意見募集等の開始・広報するに至った経緯を全て明らかにして頂きたい

## **7. 本要請に対する返答**

以上の要請事項に関して、少なくとも年度内にご返答下さるようお願い申し上げます

以上